

令和3年度

世論調査 結果報告

テーマ / 「富士市に住んで私はこう思う～第五次富士市総合計画の評価に係る市民意識調査～」、「新型コロナウイルス感染症の富士市の福祉への影響について」、「富士市の文化財について」

対象 / 市内在住の満18歳以上80歳未満の男女3,000人

抽出方法 / 住民基本台帳から無作為抽出

調査期間 / 6月14日～7月5日 調査方法 / 郵送調査

有効回収数(率) / 1,707人 (56.9%)

※調査結果の比率は、百分率で表示し、小数点以下第2位を四捨五入していますので、合計が100%にならない場合があります。

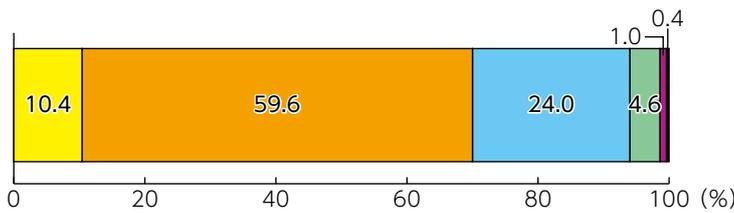
※詳しい調査結果は、各図書館や市ウェブサイトでご覧になれます。



市は、市民の皆さんの意見や要望を市政に反映させるため、毎年世論調査を実施しています。6月に行った世論調査の結果がまとまりましたので、一部を抜粋してお知らせします。今回の調査にご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。貴重なご意見を参考に、今後の市政運営を行ってまいります。

テーマ

富士市に住んで私はこう思う～第五次富士市総合計画の評価に係る市民意識調査～



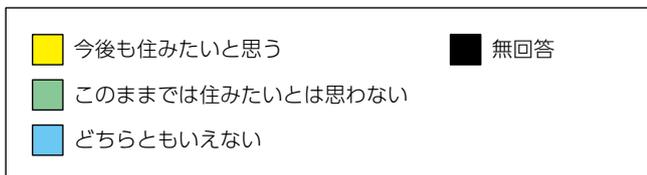
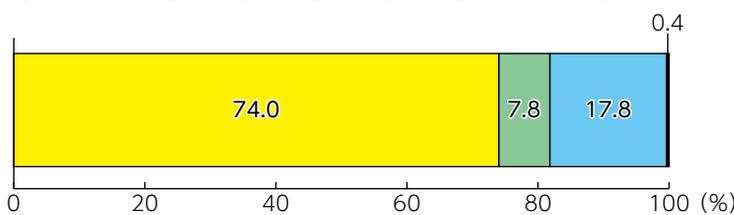
Q あなたにとって、富士市は住みやすい市ですか。

約6割が「住みやすい」

「住みやすい」が59・6%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が24・0%、「たいへん住みやすい」が10・4%となっています。

また、「住みやすい」（「たいへん住みやすい」と「住みやすい」の合計）は70・0%、「住みにくい」（「住みにくい」と「たいへん住みにくい」の合計）は5・6%となっています。

富士市の住みやすさ



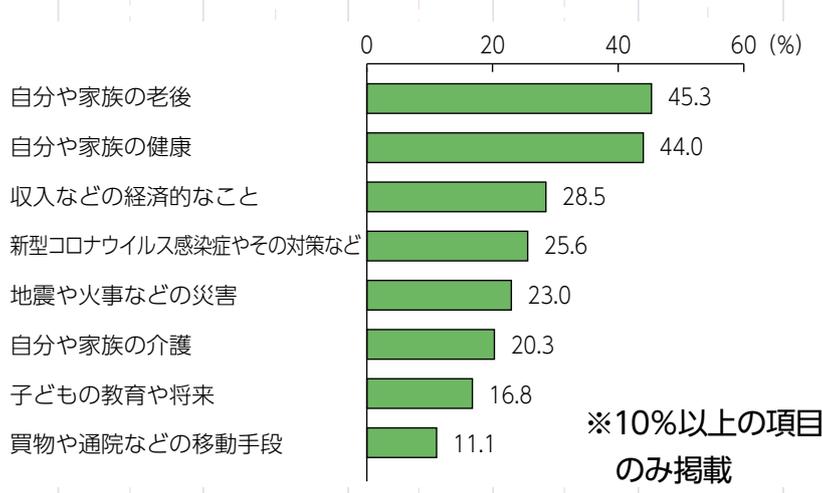
Q 今後も富士市に住みたいと思いますか。

7割以上は「今後も住みたい」

「今後も住みたいと思う」が74・0%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が17・8%、「このままでは住みたいとは思わない」が7・8%となっています。

富士市での居住意向

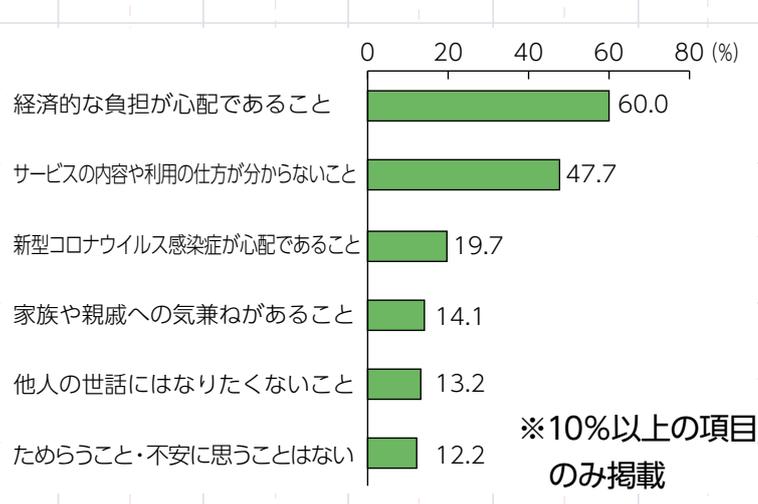
テーマ 新型コロナウイルス感染症の富士市の福祉への影響について



▽ 半数近くは「老後や健康」
 「自分や家族の老後」が45・3%と最も多く、次いで「自分や家族の健康」が44・0%、「収入などの経済的なこと」が28・5%、「新型コロナウイルス感染症やその対策など」が25・6%となっています。

Q 日頃の生活でどのようなことに悩みや不安を感じていますか。(複数回答)
 「日頃の生活でどのようなことに悩みや不安を感じていますか。」

日頃の生活で感じている悩みや不安

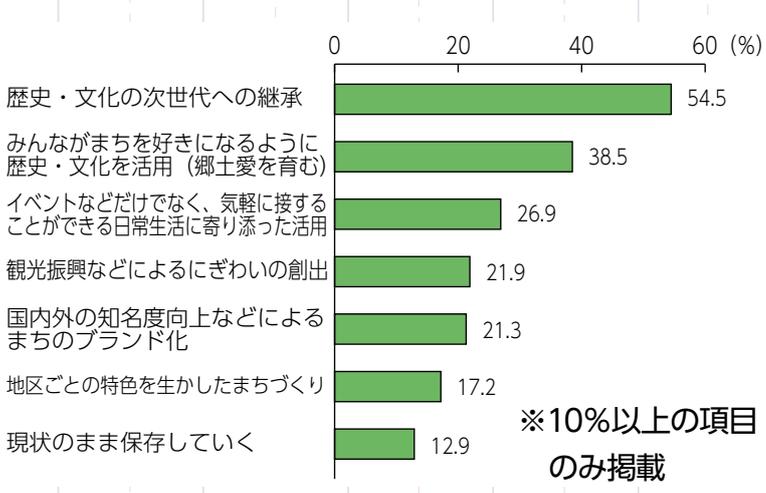


▽ 6割は「経済的な負担」
 「経済的な負担が心配であること」が60・0%と最も多く、次いで「サービスの内容や利用の仕方が分からないこと」が47・7%、「新型コロナウイルス感染症が心配であること」が19・7%となっています。

Q 自分自身や家族に福祉サービスが必要になったとき、利用をためらうこと・不安に思うこととはありますか。(複数回答)
 「自分自身や家族に福祉サービスが必要になったとき、利用をためらうこと・不安に思うこととはありますか。」

福祉サービスが必要になったときに、ためらうことや不安なこと

テーマ 富士市の文化財について



▽ 約半数は「次世代への継承」
 「歴史・文化の次世代への継承」が54・5%と最も多く、次いで「みんながまちを好きになるように歴史・文化を活用(郷土愛を育む)」が38・5%、「イベントなどだけでなく、気軽に接することができる日常生活に寄り添った活用」が26・9%となっています。

Q 富士市の「歴史や文化」などの保存・活用の方向性はごうしたらよいと思いますか。(複数回答)
 「富士市の「歴史や文化」などの保存・活用の方向性はごうしたらよいと思いますか。」

「歴史や文化」などの保存・活用の方向性について